


別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事		平成28年 7月29日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府城陽市上津屋境端67-2		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) ニック工業株式会社 中島正晴
環境マネジメントシステムの名称	JIS Q14001:2004 ISO14001:2004	
適用範囲	中島工業株式会社及び関連組織のニック工業株式会社	
導入年月日	2007年 10月 22日	
認証番号	08607-B	
基本方針	プラスチックフィルムに対するコーティングの設計・開発及び加工を推進するための環境マネジメントシステム	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに全社目標を制定している。 直前期の全社目標は以下のとおり 徹底した工程管理と品質管理で不良品“ゼロ” 稼働率と歩留りの向上で省エネ1%達成を! 新製品の開拓・上市で新しい顧客の確保 該当法令の再確認と遵守の徹底 「無災害・無事故」継続と6S活動の推進 	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> 全社目標により無駄な電気・ガス使用量を削減し、省エネルギーと廃棄物排出量の削減につとめる。 法令遵守により、環境保全につとめる。 	
目標を達成するための取組の進捗状況	毎月、QEA委員会(全部門の代表が集まる会議)を開催し、全社目標に従い部門目標を設定し環境に貢献するよう活動している。また、四半期ごとに進捗データをまとめて報告している。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>基準年度の時の生産品目から、新規生産品目へ切り替わり量産が始まり、歩留向上と稼働率の向上を目標に活動しています。しかしながら、顧客からの生産数量の増加と高機能生産品の実現の要望がまっています。そのために稼働は24時間365日間で対応し、また、高機能生産品の実現のために生産機の改造・更新を行っています。エネルギー使用量の面からみますと、高機能生産機は省エネ型ですが、電気使用量は従来の1.8倍~2倍必要となっています。また、乾燥工程では、高温が必要な為にガス使用量も増加します。</p> <p>貴部門要求の数ヶ年でのエネルギー使用量の削減を尊重しておりますが、受託型製造業としては、削減努力を上回るユーザーの要求(新モデル、試作)によりエネルギー使用量の増加結果となっております。</p> <p>弊社がエネルギー使用量削減を直接的に管理できる努力としては、生産機導入の際は、省エネルギータイプの選択です。また、多品種生産や短納期要求に対して、エネルギー効率のよいまとめ生産の提案をして、エネルギー使用量の継続的な削減に努めております。</p>	
事業活動に係る法令の遵守の状況	年2回、関連法規制に関してチェックを行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>評価、見直しの必要性に関しては、年2回「マネジメントレビュー」を行い検討している。その際に必要があれば「品質/環境マニュアル」の改訂を行っている。</p> 	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。